

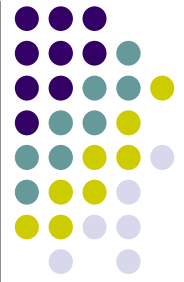


「OTC医薬品とヘルスケア」
集計結果報告書



2008年4月
朝日新聞東京本社広告局

目次



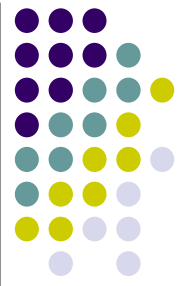
1．調査概要	2
2．回答者の属性	3
3．アンケート内容	7
4．調査結果	
(1) OTC医薬品認知度	8
(2)セルフメディケーション認知度	10
(3)販売制度改正認知度	12
(4)具合が悪くなったときの対処	14
(5) サプリメント認知	16
(5) サプリメント使用経験	17
(5) サプリメント使用目的	19
(5) くすりとの使い分け	23
(6)薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度	24
(7)薬局・薬店・ドラッグストアのイメージ	25
(8) OTC医薬品についての意見	28

掲載紙面

1. 調査概要



- 対象広告 朝日新聞全国版 2008年3月18日(火)付 全30段
- 地域 全国
- 集計対象者 上記広告に応募した男女個人
- 応募者数 2,206人(ハガキ 1281人、FAX 251人、Web 674人)
- 集計対象者数 1,000人(ハガキ 566人、FAX 118人、Web 316人)
応募者数2,206人より、応募方法別に1,000人を抽出、同一回答者による複数応募などを除いた。また、抽出にあたっては性・年齢の無回答は除いた。

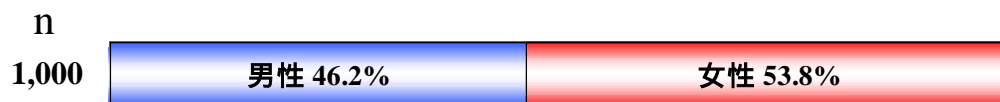


2. 回答者の属性

性別

性別

男性(46.2%)は4割以上で、女性(53.8%)が5割以上を占める。

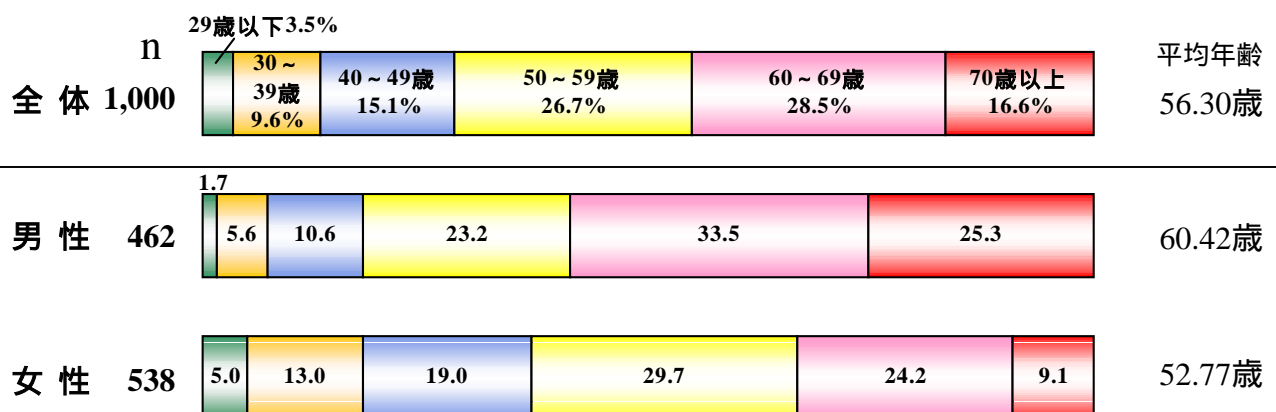


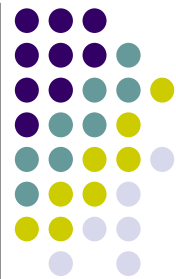
年齢

「60～69歳」(28.5%)と「50～59歳」(26.7%)が2割以上で、「70歳以上」(16.6%)がこれに次いで多い。
平均年齢は56.3歳であった。

【性別】
男性は「60～69歳」(33.5%)が3割以上で最も多く、次に「70歳以上」(25.3%)、「50～59歳」(23.2%)が2割以上で多い。女性は「50～59歳」(29.7%)が3割近くを占めて最も多く、次に「60～69歳」(24.2%)が2割以上で続く。

平均年齢は男性が60.4歳、女性が52.8歳で、男性が7歳以上高い。





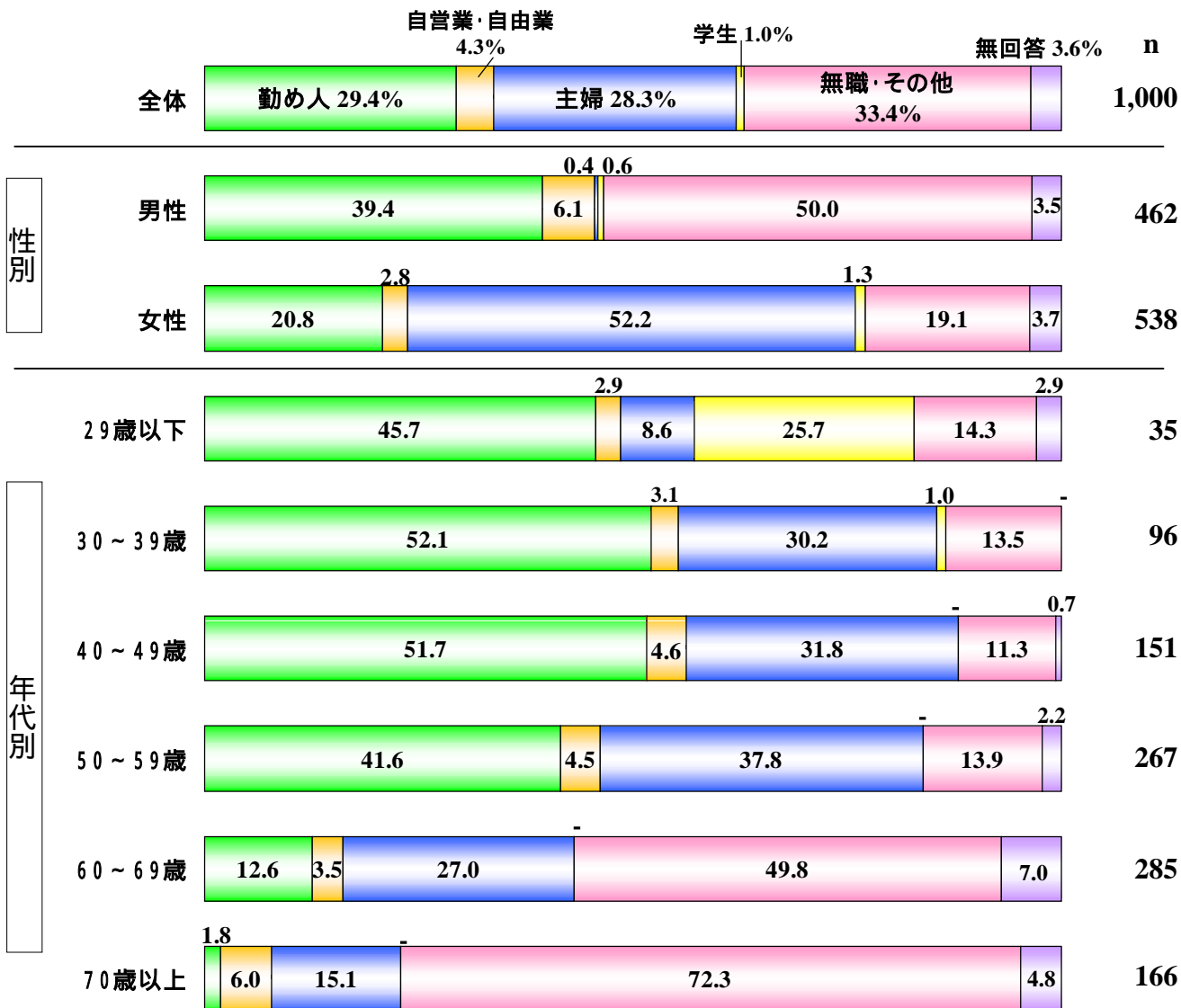
職業

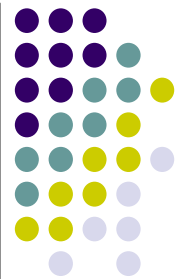
—全体、性別、年代別—

「無職・その他」(33.4%)が3割以上で最も多く、次いで、「勤め人」(29.4%)と「主婦」(28.3%)が約3割で続く。

【性別】男性は「無職・その他」(50.0%)が5割を占め特に多い。次に「勤め人」(39.4%)が約4割で多い。女性は「主婦」(52.2%)が5割以上を占めて特に多く、次に「勤め人」(20.8%)と「無職・その他」(19.1%)が2割で続く。

【年代別】29歳以下は「勤め人」が4割以上を占め、次に「学生」が2割以上で多い。30～40代は「勤め人」が5割以上、「主婦」が3割を占める。50代は「勤め人」が4割以上、「主婦」が3割以上である。60代以上は「無職・その他」が最も多く、70歳以上では7割以上を占める。





居住地

- 全体、性別、年代別 -

「東京都」「神奈川県」「埼玉県」「千葉県」「その他関東」を合わせた“関東”が39.8%である。
 「大阪府」「兵庫県」「その他近畿」を合わせた“近畿”は23.9%である。

【性別】男女で特に違いはない。
 【年代別】29歳以下で「千葉県」がやや多い。30代以下と70歳以上で「大阪府」がやや多い。
 40～50代で「九州・沖縄」がやや多い。





応募方法

- 全体、性別、年代別、職業別 -

「ハガキ」(56.6%)が5割で最も多く、次いで「インターネット」(31.6%)、「FAX」(11.8%)と続く。

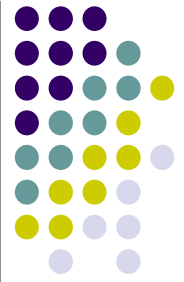
【性別】男性は「ハガキ」(47.6%)、「インターネット」(42.2%)がともに4割以上で「ハガキ」がやや多い。女性は「ハガキ」(64.3%)が6割以上と多く、「インターネット」(22.5%)は2割以上である。

【年代別】「ハガキ」は高い年代ほど多く、「インターネット」は若い年代ほど多い。

【職業別】勤め人は「インターネット」(49.0%)が最も多い。そのほかの職業では「ハガキ」が多く、5割以上を占める。

	全体	ハガキ 56.6%	FAX 11.8%	インターネット 31.6%	n
性別	男性	47.6	10.2	42.2	462
	女性	64.3	13.2	22.5	538
	29歳以下	48.6	5.7	45.7	35
年代別	30～39歳	41.7	14.6	43.8	96
	40～49歳	53.0	11.9	35.1	151
	50～59歳	52.1	12.0	36.0	267
	60～69歳	58.6	14.0	27.4	285
	70歳以上	74.1	7.2	18.7	166
職業別	勤め人	42.2	8.8	49.0	294
	自営業・自由業	65.1	14.0	20.9	43
	主婦	65.4	14.8	19.8	283
	学生	50.0	10.0	40.0	10
	無職・その他	57.8	11.4	30.8	334

3 . アンケート内容 (単純集計結果)



- 質問1 あなたは「OTC医薬品」という言葉をご存知ですか？
- | | | |
|--------------|--------|--------|
| 知っていた | 23.9 % | n=1000 |
| 知らなかった | 44.1 | |
| 知らなかったが関心がある | 30.9 | |
| 知らなかったし関心もない | 1.1 | |
| 無回答 | - | |
- 質問2 OTC医薬品を使って軽い病気やけがの手当をすることをセルフメディケーションといいます。この言葉をご存知でしたか？
- | | | |
|---------------|-------|--------|
| 内容を詳しく知っている | 4.0 % | n=1000 |
| 内容をある程度知っている | 20.2 | |
| 言葉だけは聞いたことがある | 32.0 | |
| 知らない | 43.8 | |
| 無回答 | - | |
- 質問3 平成21年4月以降、OTC医薬品の販売制度が改善されますがこのことをご存じですか？
- | | | |
|------------|-------|--------|
| 知っている | 7.3 % | n=1000 |
| 知らない | 41.1 | |
| 知らないが関心がある | 50.2 | |
| 知らないし関心もない | 1.4 | |
| 無回答 | - | |
- 質問4 体の具合が悪いとき(かぜや肩こりなど自分で症状が判断できるような場合)、どうしていますか？
- | | | |
|----------------------------|--------|--------|
| まず、薬局・薬店へ行き、OTC医薬品を使う | 17.2 % | n=1000 |
| まず病院に行き、医師に診てもらう | 10.2 | |
| 症状によって薬局・薬店に行くか、病院に行くかを定める | 54.4 | |
| しばらく様子を見る | 18.1 | |
| 無回答 | 0.1 | |
- 質問5 サプリメントについておたずねします。
- サプリメントを知っていますか？(Yes,No)
- | | | |
|-----|--------|--------|
| はい | 93.8 % | n=1000 |
| いいえ | 5.7 | |
| 無回答 | 0.5 | |
- サプリメントを使ったことがありますか？(Yes,No)
- | | | |
|-----|--------|--------|
| はい | 61.9 % | n=1000 |
| いいえ | 30.3 | |
| 無回答 | 7.8 | |
- (Q5 で「はい」(使用経験あり)とお答えの方)くすりとの使い分けをしていますか？(Yes,No)
- | | | |
|-----|--------|-------|
| はい | 84.0 % | n=619 |
| いいえ | 13.1 | |
| 無回答 | 2.9 | |
- 質問6 どのくらいの頻度で薬局・薬店に行きますか？
- | | | |
|------------|--------|--------|
| 週に1回以上 | 10.9 % | n=1000 |
| 月に3~4回 | 19.6 | |
| 月に1~2回 | 38.8 | |
| 2~3か月に1回以下 | 27.6 | |
| 利用しない | 2.2 | |
| 無回答 | 0.9 | |
- 質問7 薬局・薬店・ドラッグストアに対してあなたがお持ちのイメージをお聞かせください。
- 質問8 OTC医薬品について、ご意見やご希望、ご不満に感じていることがあればお聞かせ下さい。

4. 調査結果

(1) OTC医薬品認知度

- 全体、性別、年代別、職業別 -



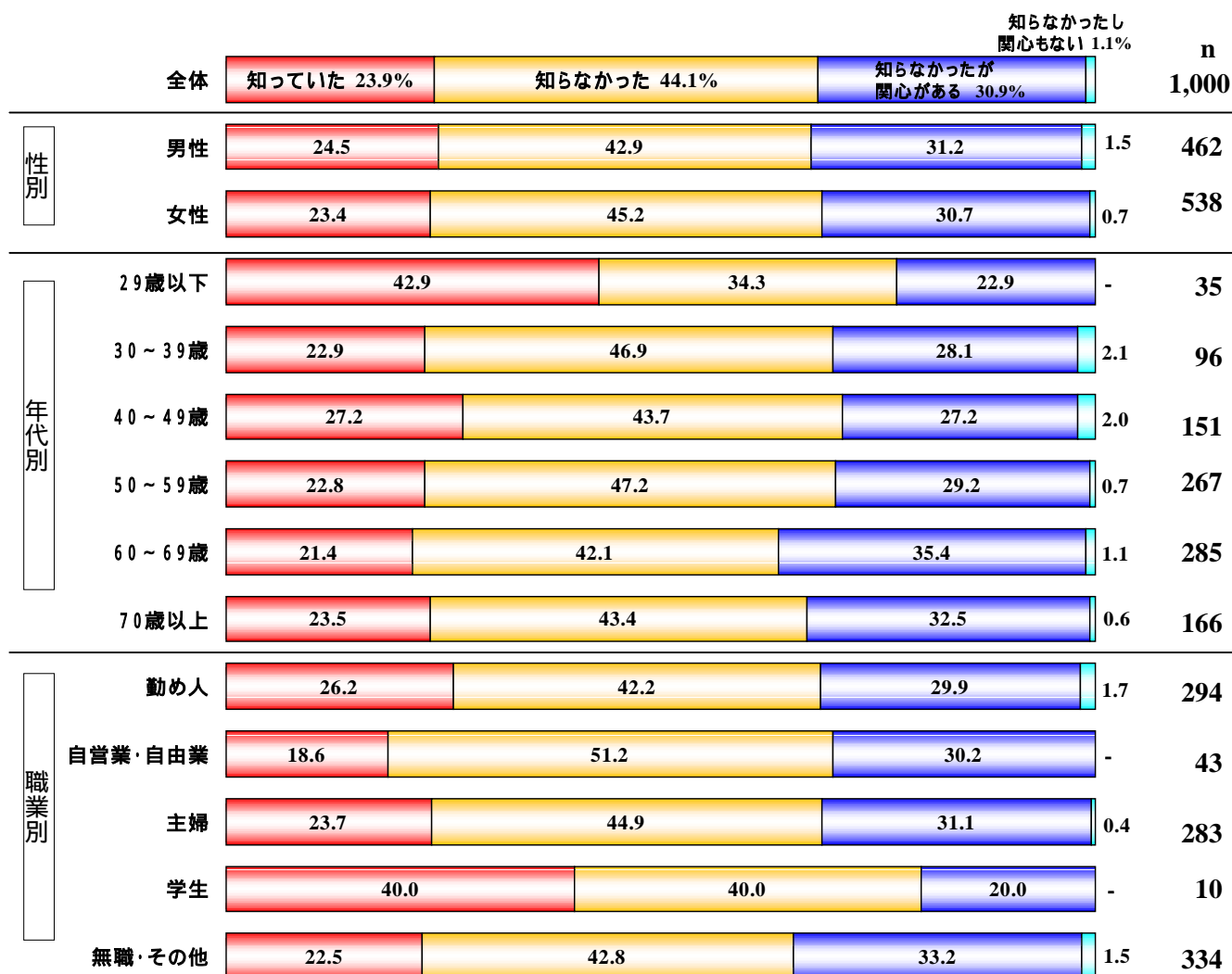
Q1 あなたは「OTC医薬品」という言葉をご存じでしたか？

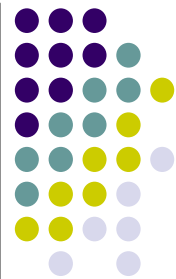
「知っていた」(23.9%)は2割以上である。「知らなかった」(44.1%)、「知らなかったが関心がある」(30.9%)、「知らなかったし関心もない」(1.1%)を合わせた76.1%が「OTC医薬品」という言葉を知らないと答えた。

【性別】男女で特に違いはない。

【年代別】30代以上の認知度は2割以上で特に違いはない。50代以上で「知らないが関心がある」がやや多い。

【職業別】勤め人で「知っていた」がやや多い。



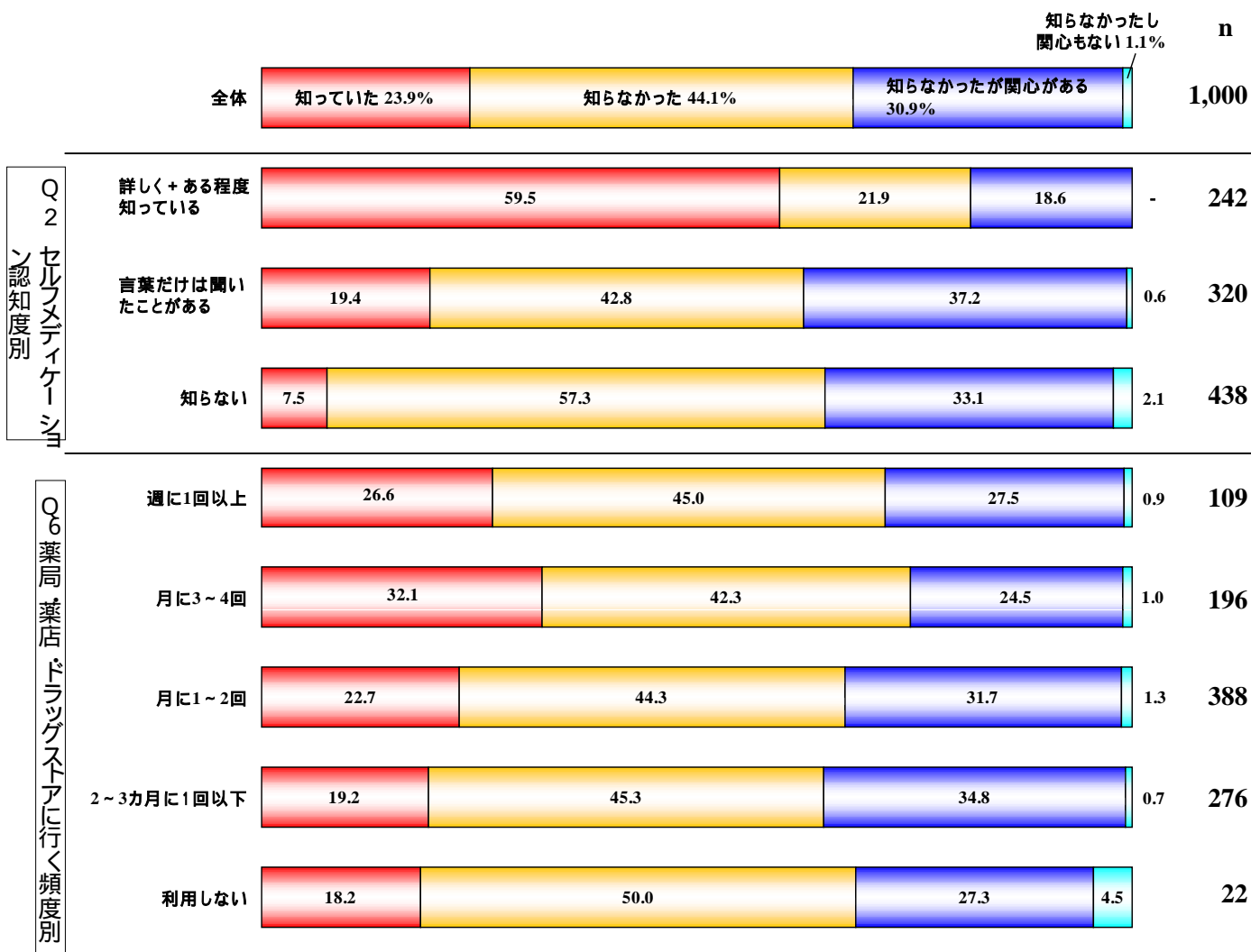


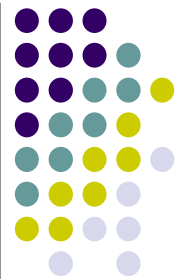
(1) OTC 医薬品認知度

- 全体、Q2 セルフメディケーション認知度別、Q6 薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度別 -

【Q2 セルフメディケーション認知度別】
『セルフメディケーション』という言葉の認知度が高いほど、『OTC 医薬品』の認知度が高い。

【Q6 薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度別】
薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度が多いほど、『OTC 医薬品』の認知度が高い傾向がみられる。





(2)セルフメディケーション認知度

- 全体、性別、年代別、職業別 -

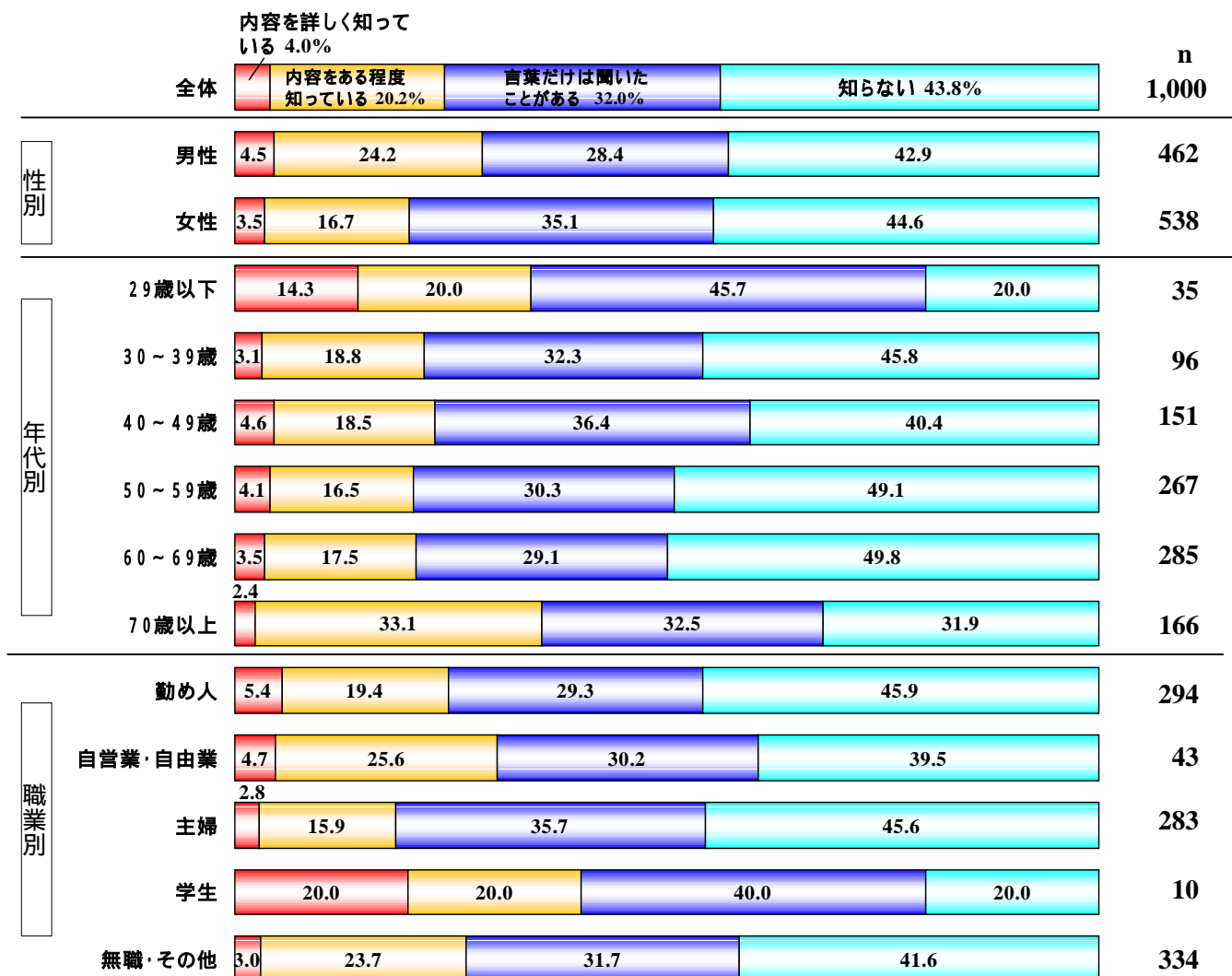
Q2 OTC医薬品を使って軽い病気やけがの手当てをすることをセルフメディケーション
 といいます。この言葉をご存じでしたか？

「内容を詳しく知っている」(4.0%)と「内容をある程度知っている」(20.2%)を合わせ、「セルフメディケーション」の内容まで知っている人は24.2%である。これに「言葉だけは聞いたことがある」(32.0%)を加えると、言葉の認知度は56.2%と5割を超える。「知らない」という人は43.8%である。

【性別】男性は、「内容をある程度知っている」がやや多い。女性は、「言葉だけ聞いたことがある」がやや多い。

【年代別】70歳以上で言葉の認知度は多い。「知らない」は50～60代で約5割と多い。

【職業別】無職・その他で言葉の認知度はやや多い。





(2)セルフメディケーション認知度

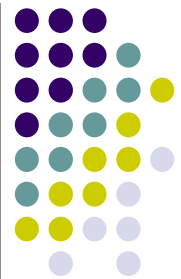
- 全体、Q6 薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度別 -

【Q6 薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度別】

薬局・薬店に行く頻度が多いほど、『セルフメディケーション』という言葉を知っている人が多い。
 薬局・薬店・ドラッグストアを利用しない人は、「知らない」が5割以上と多い。



Q6 薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度別



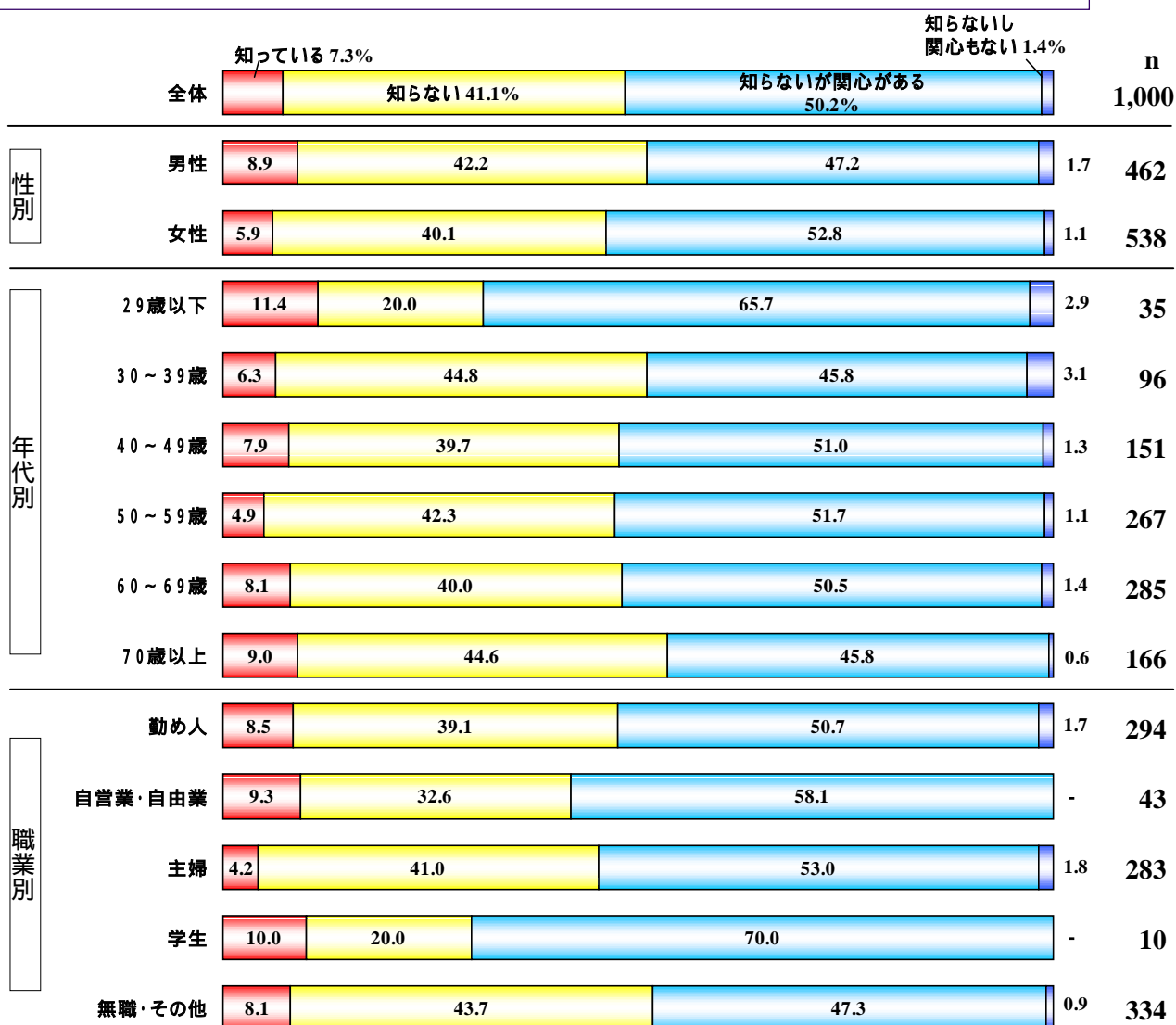
(3) 販売制度改正認知度

- 全体、性別、年代別、職業別 -

Q3 平成21年4月以降、OTC医薬品の販売制度が改正されますがこのことをご存じですか？

「知っている」(7.3%)は1割未満で、「知らない」(41.1%)、「知らないが関心がある」(50.2%)、「知らないし関心もない」(1.4%)を合わせた92.7%が販売制度の改正されることを知らないと答えた。

【性別】「知っている」は男性でやや多く、「知らないが関心がある」は女性でやや多い。
 【年代別】「知っている」は29歳以下を除き、いずれの年代も1割未満である。「知らないが関心がある」は40～60代で5割以上である。
 【職業別】「知っている」はいずれの職業も1割未満で、主婦は特に少ない。





(3) 販売制度改正認知度

- 全体、Q1 OTC医薬品の認知度別、Q2 セルフメディケーション認知度別、Q6 薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度別 -

【Q1 OTC医薬品の認知度別】

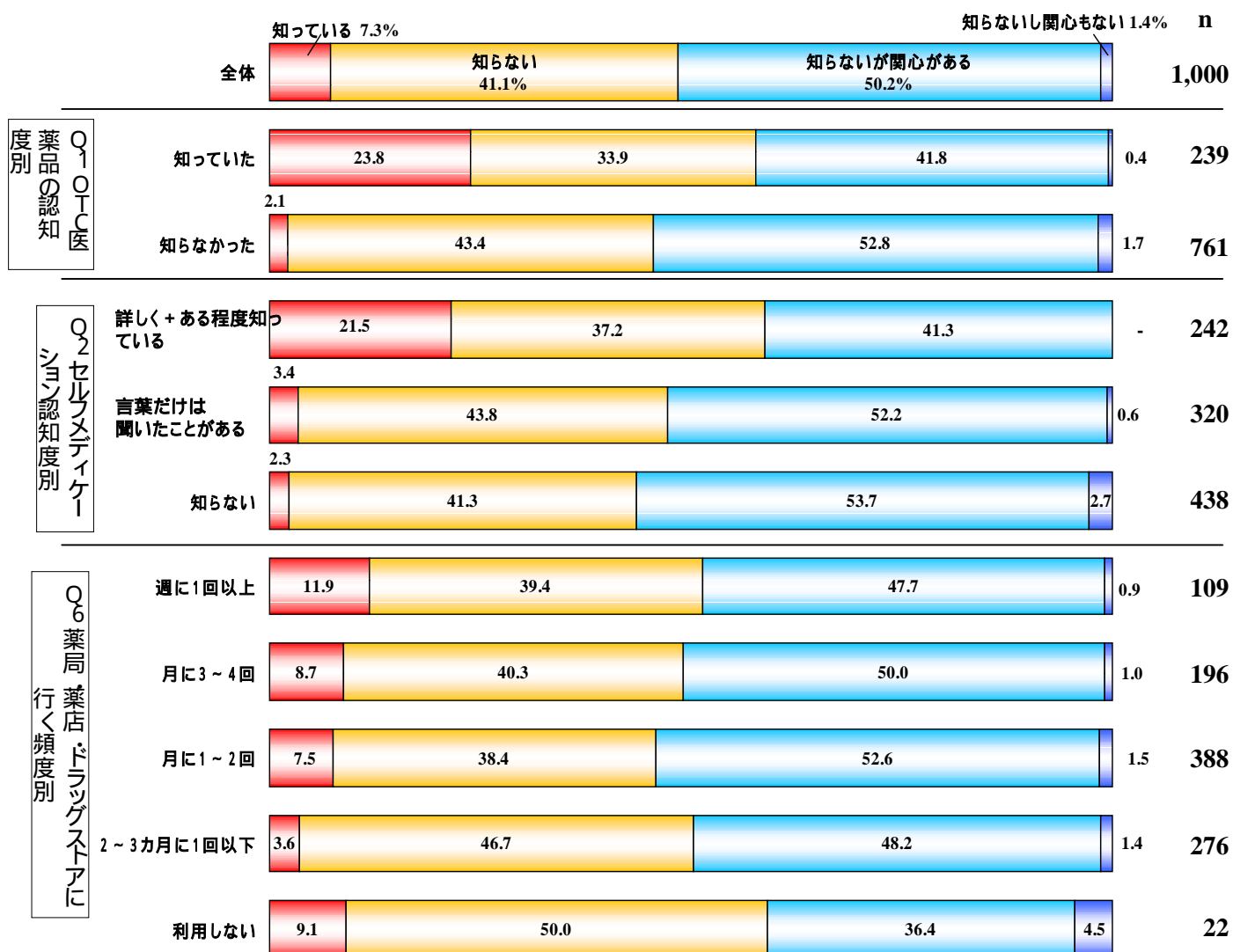
『OTC医薬品』を知っていた人では、販売制度の改正を「知っている」人が2割以上と多い。

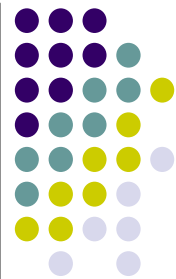
【Q2 セルフメディケーション認知度別】

『セルフメディケーション』についてよく知っている人(「詳しく知っている」+「ある程度知っている」)では、販売制度の改正についても「知っている」が2割以上と多い。

【Q6 薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度別】

薬局・薬店・ドラッグストアを頻繁に利用する人ほど販売制度の改正を「知っている」がわずかだが増える。





(4) 具合が悪くなったときの対処

- 全体、性別、年代別、職業別 -

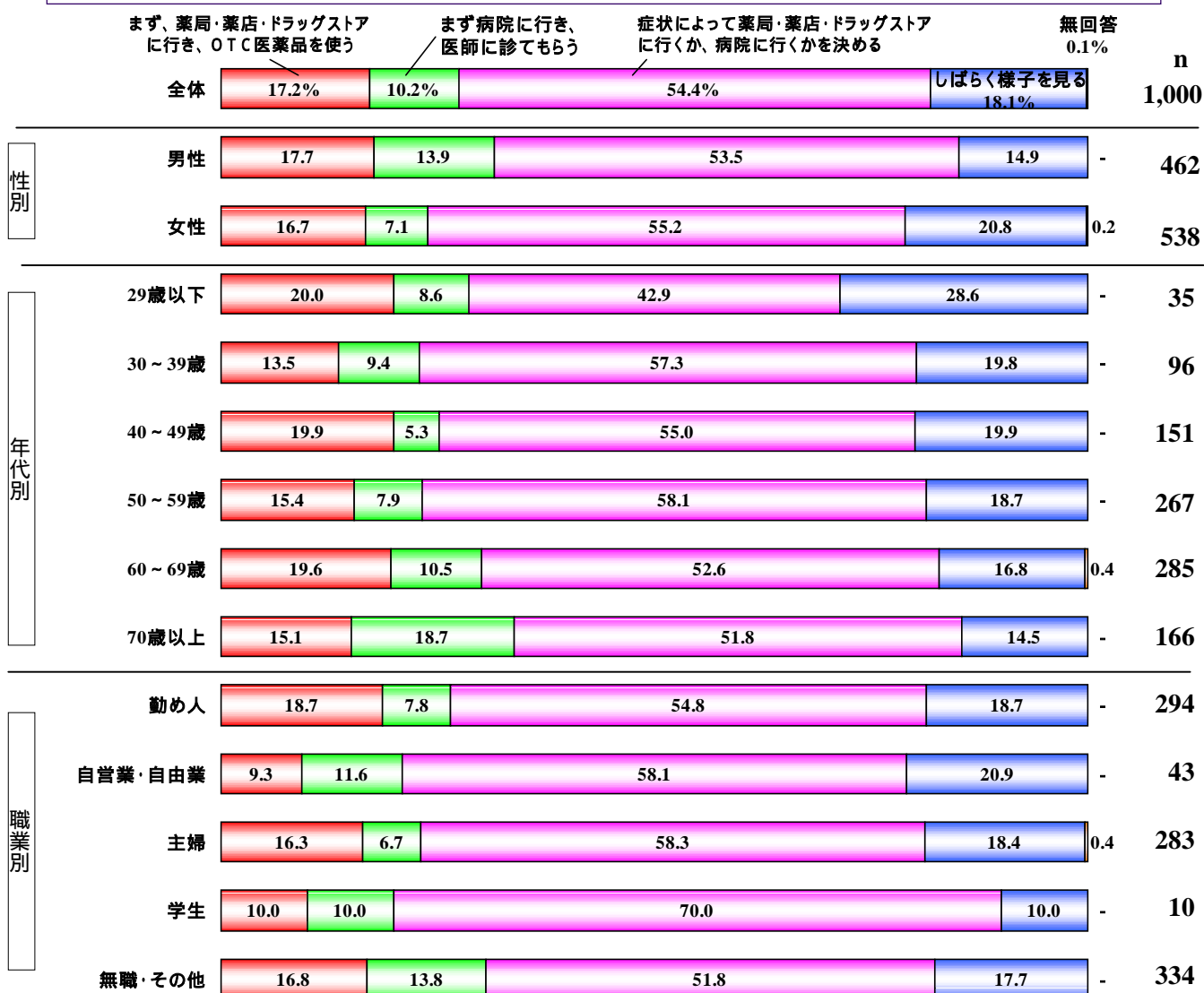
Q4 体の具合が悪いとき(かぜや肩こりなど自分で症状が判断できるような場合)、 どうしていますか?

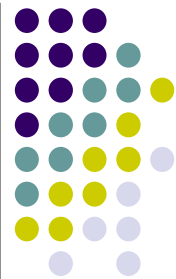
「症状によって薬局・薬店・ドラッグストアに行くか、病院に行くかを決める」(54.4%)が5割以上と多い。これに「まず、薬局・薬店・ドラッグストアに行き、OTC医薬品を使う」(17.2%)を合わせた71.6%の人が、OTC医薬品を利用する意向を持つ。「しばらく様子を見る」(18.1%)、「まず病院に行き、医師に診てもらおう」(10.2%)は1割以上である。

【性別】男女で特に違いはないが、「まず病院に行き、医師に診てもらおう」は男性にやや多い。「しばらく様子を見る」は女性にやや多い。

【年代別】「まず、薬局・薬店・ドラッグストアに行き、OTC医薬品を使う」は29歳以下、40代、60代でやや多い。「しばらく様子を見る」は若い年代ほど多い。

【職業別】勤め人、主婦、無職・その他で「まず、薬局・薬店・ドラッグストアに行き、OTC医薬品を使う」がやや多い。

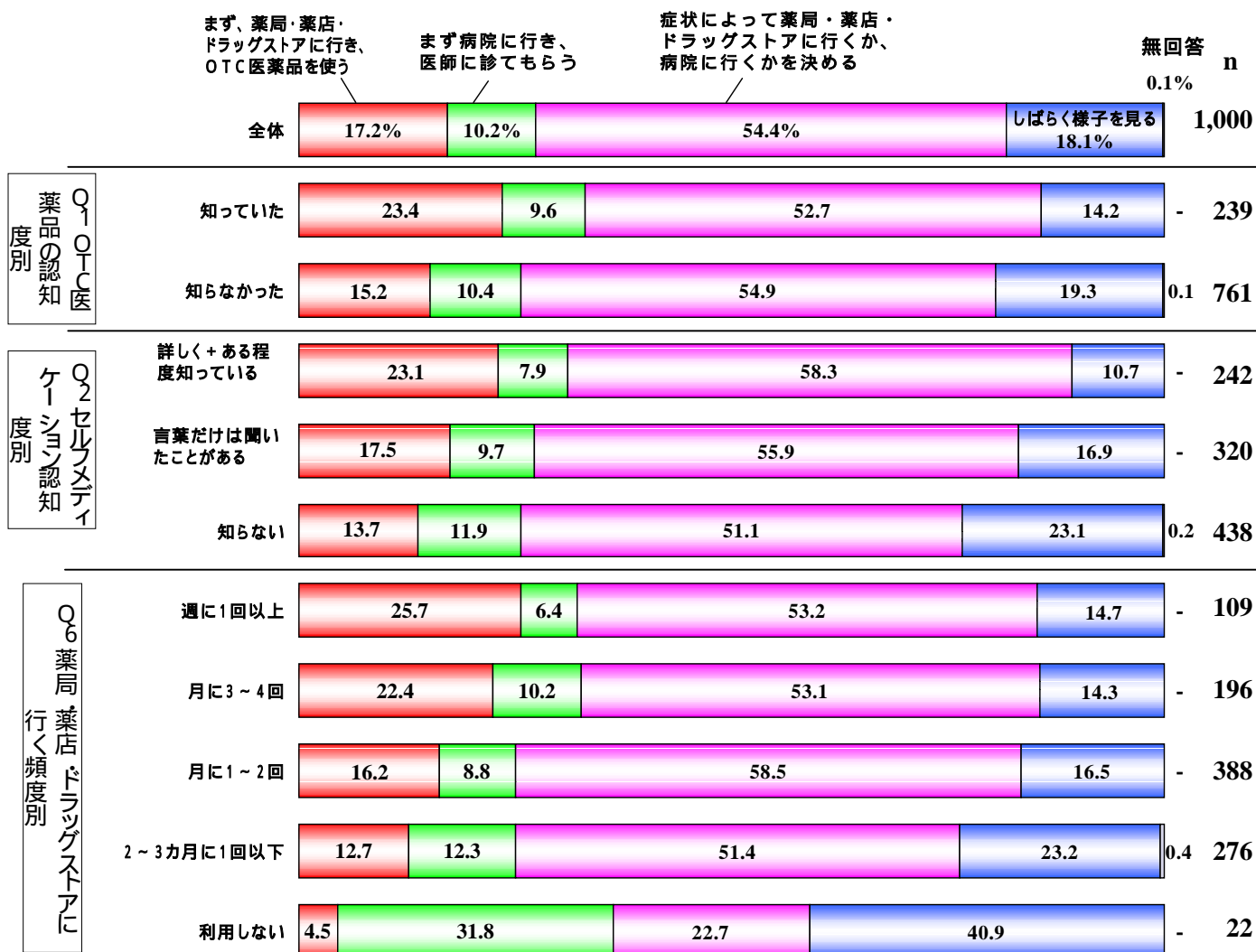


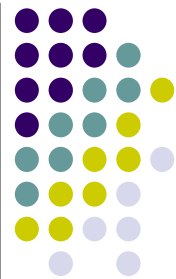


(4) 具合が悪くなったときの対処

- 全体、Q1 OTC医薬品の認知度別、Q2 セルフメディケーション認知度別、Q6 薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度別 -

【Q1 OTC医薬品の認知度別】
『OTC医薬品』を知っていた人は知らない人よりも「まず、薬局・薬店・ドラッグストアに行き、OTC医薬品を使う」が多い。
【Q2 セルフメディケーション認知度別】
『セルフメディケーション』という言葉を知っている人ほど、「まず、薬局・薬店・ドラッグストアに行き、OTC医薬品を使う」「症状によって薬局・薬店・ドラッグストアに行くか、病院に行くかを定める」が多く、OTC医薬品の利用意向は高い。
【Q6 薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度別】
薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度が多いほど、「まず、薬局・薬店・ドラッグストアに行き、OTC医薬品を使う」が多い。





(5) サプリメント認知

- 全体、性別、年代別、職業別 -

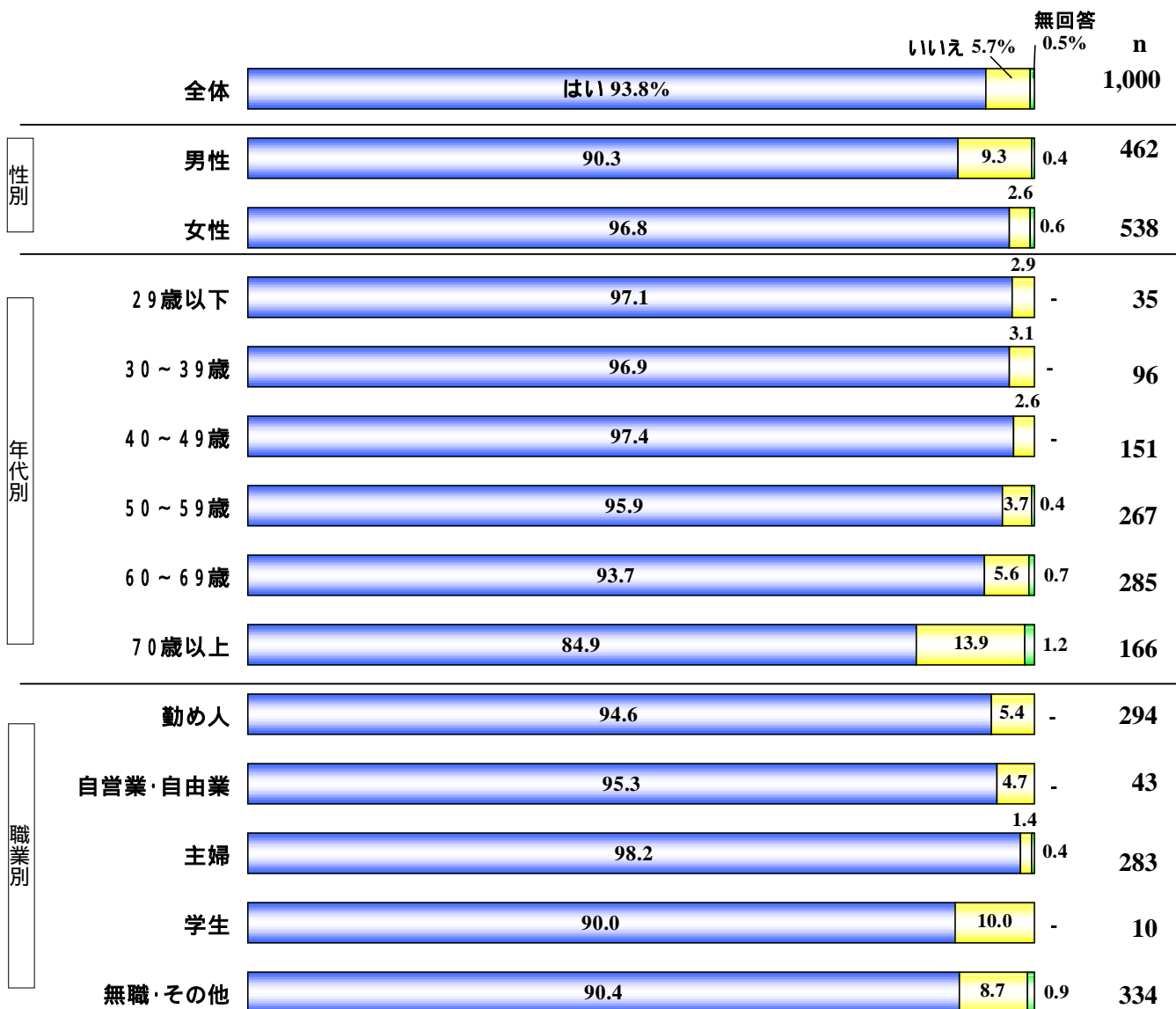
Q5 サプリメントを知っていますか？

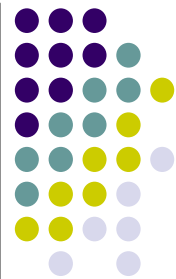
「はい(知っている)」(93.8%)がほとんどである。

【性別】『サプリメント』の認知度は男女とも9割以上で、男性より女性の方がやや高い。

【年代別】60代以下は「はい(知っている)」が9割以上を占める。70歳以上は8割台でやや減る。

【職業別】いずれの職業も、「はい(知っている)」が9割以上で認知度は高い。特に、主婦は98.2%と高い。





(5) サプリメント使用経験

- 全体、性別、年代別、職業別 -

Q5 サプリメントを使ったことがありますか？

「はい(使ったことがある)」(61.9%)が6割以上で、「いいえ(使ったことがない)」(30.3%)は3割以上である。

【性別】サプリメント使用経験者は男性の5割より女性が7割以上と多い。

【年代別】サプリメント使用経験者は若い年代ほど多い傾向があり、30～40代で7割以上と多い。70歳以上は4割台と減る。

【職業別】使用経験者は主婦で7割以上と多く、無職・その他で5割以上とやや少ない。

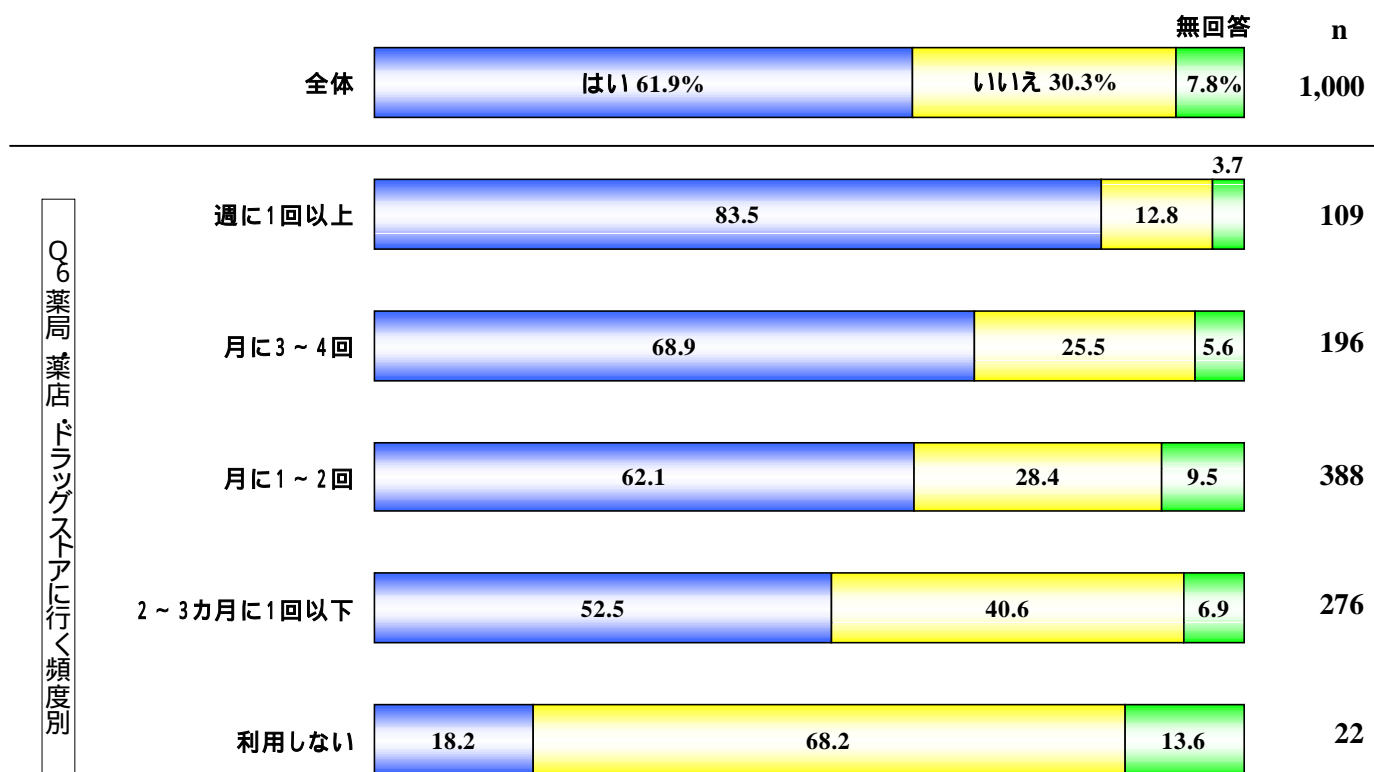




(5) サプリメント使用経験

- 全体、Q6 薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度別 -

【Q6 薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度別】
 薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度が高いほど使用経験者が多い。





(5) サプリメント使用目的(自由回答) - 全体 -

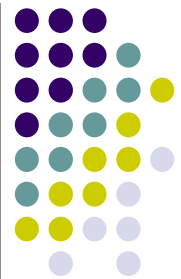
Q5 <質問5 でYesとお答えの方> それはどんな時にお使いですか?
(何の目的で)

サプリメントを使用したことのある619人に、どんな時に使うかを自由回答で聞き、615人から回答が得られた。

内容を複数回答で分類したところ、「栄養補給、食事のバランス調整に」、「健康維持、健康増進」(ともに175人、28.5%)が同率で多かった。次いで、「疲れ・肩こり」(86人、14.0%)、「美容・ダイエット」(53人、8.6%)が多く挙がった。

性別・年代別にまとめたものが次ページ以下である。

全体	615 人中
	人 (%)
栄養補給、食事のバランス調整に	175 (28.5)
健康維持、健康増進	175 (28.5)
疲れ・肩こり	86 (14.0)
美容・ダイエット	53 (8.6)
関節痛などの痛み緩和、予防	28 (4.6)
体調を崩したとき	26 (4.2)
眼精疲労・目の健康に	23 (3.7)
体力が落ちたとき	22 (3.6)
予防、免疫力アップ	15 (2.4)
毎日の習慣で・何となく使っている	12 (2.0)
コレステロール、血圧	10 (1.6)
老化防止	8 (1.3)
口内炎	7 (1.1)
骨密度の維持	6 (1.0)
便通を良くするため	6 (1.0)
貧血防止	6 (1.0)
人に勧められた	5 (0.8)
試しに飲んでいる	4 (0.7)
日焼け	3 (0.5)
必要だと感じたとき	3 (0.5)
体質改善、冷え対策	3 (0.5)
スポーツの時	3 (0.5)
花粉症	2 (0.3)
眠れないとき	1 (0.2)
生理前、妊娠中	1 (0.2)
アルコールを飲んだとき	1 (0.2)
その他の症状緩和	7 (1.1)
その他	9 (1.5)



(5) サプリメント使用目的(自由回答) -性別-

サプリメントの使用目的を性別にみると、男女とも「栄養補給、食事のバランス調整に」「健康維持、健康増進」が上位2位である。3位は、男性は「疲れ・肩こり」、女性は「美容・ダイエット」である。続いて、男性では「体力が落ちたとき」「体調を崩したとき」が多く挙がり、女性では「疲れ・肩こり」「眼精疲労・目の健康に」「体調を崩したとき」が多く挙げた。

男性	224 人中 人 (%)
栄養補給、食事のバランス調整に	63 (28.1)
健康維持、健康増進	63 (28.1)
疲れ・肩こり	37 (16.5)
体力が落ちたとき	14 (6.3)
体調を崩したとき	9 (4.0)
関節痛などの痛み緩和、予防	8 (3.6)
コレステロール、血圧	7 (3.1)
予防、免疫力アップ	6 (2.7)
眼精疲労・目の健康に	5 (2.2)
毎日の習慣で・何となく使っている	4 (1.8)
美容・ダイエット	3 (1.3)
スポーツの時	3 (1.3)
試しに飲んでいる	3 (1.3)
骨密度の維持	2 (0.9)
便通を良くするため	2 (0.9)
老化防止	1 (0.4)
人に勧められた	1 (0.4)
口内炎	1 (0.4)
貧血防止	1 (0.4)
花粉症	1 (0.4)
その他の症状緩和	2 (0.9)
その他	4 (1.8)

女性	391 人中 人 (%)
栄養補給、食事のバランス調整に	112 (28.6)
健康維持、健康増進	112 (28.6)
美容・ダイエット	50 (12.8)
疲れ・肩こり	49 (12.5)
関節痛などの痛み緩和、予防	20 (5.1)
眼精疲労・目の健康に	18 (4.6)
体調を崩したとき	17 (4.3)
予防、免疫力アップ	9 (2.3)
毎日の習慣で・何となく使っている	8 (2.0)
体力が落ちたとき	8 (2.0)
老化防止	7 (1.8)
口内炎	6 (1.5)
貧血防止	5 (1.3)
人に勧められた	4 (1.0)
骨密度の維持	4 (1.0)
便通を良くするため	4 (1.0)
体質改善、冷え対策	3 (0.8)
コレステロール、血圧	3 (0.8)
日焼け	3 (0.8)
必要だと感じたとき	3 (0.8)
生理前、妊娠中	1 (0.3)
アルコールを飲んだとき	1 (0.3)
眠れないとき	1 (0.3)
試しに飲んでいる	1 (0.3)
花粉症	1 (0.3)
スポーツの時	0 (0.0)
その他の症状緩和	5 (1.3)
その他	5 (1.3)



(5) サプリメント使用目的(自由回答) -年代別-

29歳以下を除き、「栄養補給、食事のバランス調整に」と「健康維持、健康増進」上位2位である。29歳以下は「疲れ・肩こり」が2番目に多い。40代以下は、「美容・ダイエット」が3番目に多い。50代以上は、「疲れ・肩こり」が3番目に多い。

29歳以下

24人中
人 (%)

栄養補給、食事のバランス調整に	11 (45.8)
疲れ・肩こり	8 (33.3)
美容・ダイエット	4 (16.7)
健康維持、健康増進	1 (4.2)
眼精疲労・目の健康に	1 (4.2)
予防、免疫力アップ	1 (4.2)
必要だと感じたとき	1 (4.2)

30代

67人中
人 (%)

健康維持、健康増進	20 (29.9)
栄養補給、食事のバランス調整に	16 (23.9)
美容・ダイエット	14 (20.9)
疲れ・肩こり	9 (13.4)
体力が落ちたとき	6 (9.0)
眼精疲労・目の健康に	2 (3.0)
口内炎	2 (3.0)
便通を良くするため	2 (3.0)
試しに飲んでいる	2 (3.0)
予防、免疫力アップ	1 (1.5)
毎日の習慣で・何となく使っている	1 (1.5)
貧血防止	1 (1.5)
スポーツの時	1 (1.5)
体質改善、冷え対策	1 (1.5)
生理前、妊娠中	1 (1.5)
コレステロール、血圧	1 (1.5)
体調を崩したとき	1 (1.5)
その他の症状緩和	1 (1.5)

40代

112人中
人 (%)

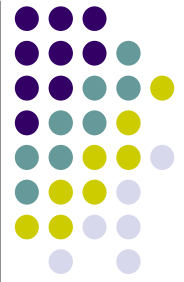
栄養補給、食事のバランス調整に	38 (33.9)
健康維持、健康増進	28 (25.0)
美容・ダイエット	20 (17.9)
疲れ・肩こり	17 (15.2)
体調を崩したとき	6 (5.4)
眼精疲労・目の健康に	3 (2.7)
予防、免疫力アップ	3 (2.7)
老化防止	3 (2.7)
関節痛などの痛み緩和、予防	2 (1.8)
人に勧められた	2 (1.8)
口内炎	2 (1.8)
毎日の習慣で・何となく使っている	2 (1.8)
体力が落ちたとき	2 (1.8)
貧血防止	1 (0.9)
骨密度の維持	1 (0.9)
便通を良くするため	1 (0.9)
花粉症	1 (0.9)
その他	1 (0.9)

50代

166人中
人 (%)

栄養補給、食事のバランス調整に	52 (31.3)
健康維持、健康増進	48 (28.9)
疲れ・肩こり	16 (9.6)
美容・ダイエット	9 (5.4)
眼精疲労・目の健康に	8 (4.8)
関節痛などの痛み緩和、予防	7 (4.2)
体力が落ちたとき	6 (3.6)
体調を崩したとき	6 (3.6)
毎日の習慣で・何となく使っている	4 (2.4)
予防、免疫力アップ	3 (1.8)
老化防止	3 (1.8)
貧血防止	3 (1.8)
口内炎	2 (1.2)
体質改善、冷え対策	2 (1.2)
コレステロール、血圧	2 (1.2)
骨密度の維持	2 (1.2)
必要だと感じたとき	2 (1.2)
人に勧められた	1 (0.6)
スポーツの時	1 (0.6)
日焼け	1 (0.6)
便通を良くするため	1 (0.6)
花粉症	1 (0.6)
その他の症状緩和	1 (0.6)
その他	3 (1.8)

(5) サプリメント使用目的(自由回答) -年代別-

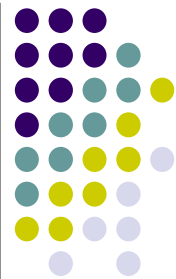


60代 176人中
人 (%)

健康維持、健康増進	53 (30.1)
栄養補給、食事のバランス調整に	42 (23.9)
疲れ・肩こり	25 (14.2)
体力が落ちたとき	13 (7.4)
眼精疲労・目の健康に	9 (5.1)
骨密度の維持	7 (4.0)
美容・ダイエット	6 (3.4)
日焼け	5 (2.8)
関節痛などの痛み緩和、予防	4 (2.3)
人に勧められた	4 (2.3)
老化防止	3 (1.7)
貧血防止	3 (1.7)
体調を崩したとき	2 (1.1)
毎日の習慣で・何となく使っている	2 (1.1)
必要だと感じたとき	2 (1.1)
スポーツの時	2 (1.1)
便通を良くするため	2 (1.1)
予防、免疫力アップ	1 (0.6)
生理前、妊娠中	1 (0.6)
アルコールを飲んだとき	1 (0.6)
眠れないとき	1 (0.6)
その他の症状緩和	10 (5.7)
その他	1 (0.6)

70歳以上 70人中
人 (%)

健康維持、健康増進	25 (35.7)
栄養補給、食事のバランス調整に	16 (22.9)
疲れ・肩こり	11 (15.7)
関節痛などの痛み緩和、予防	6 (8.6)
体力が落ちたとき	4 (5.7)
予防、免疫力アップ	3 (4.3)
体調を崩したとき	3 (4.3)
毎日の習慣で・何となく使っている	2 (2.9)
スポーツの時	1 (1.4)
骨密度の維持	1 (1.4)
試しに飲んでいる	1 (1.4)
その他の症状緩和	2 (2.9)



(5) くすりとの使い分け

- 全体、性別、年代別、職業別 -

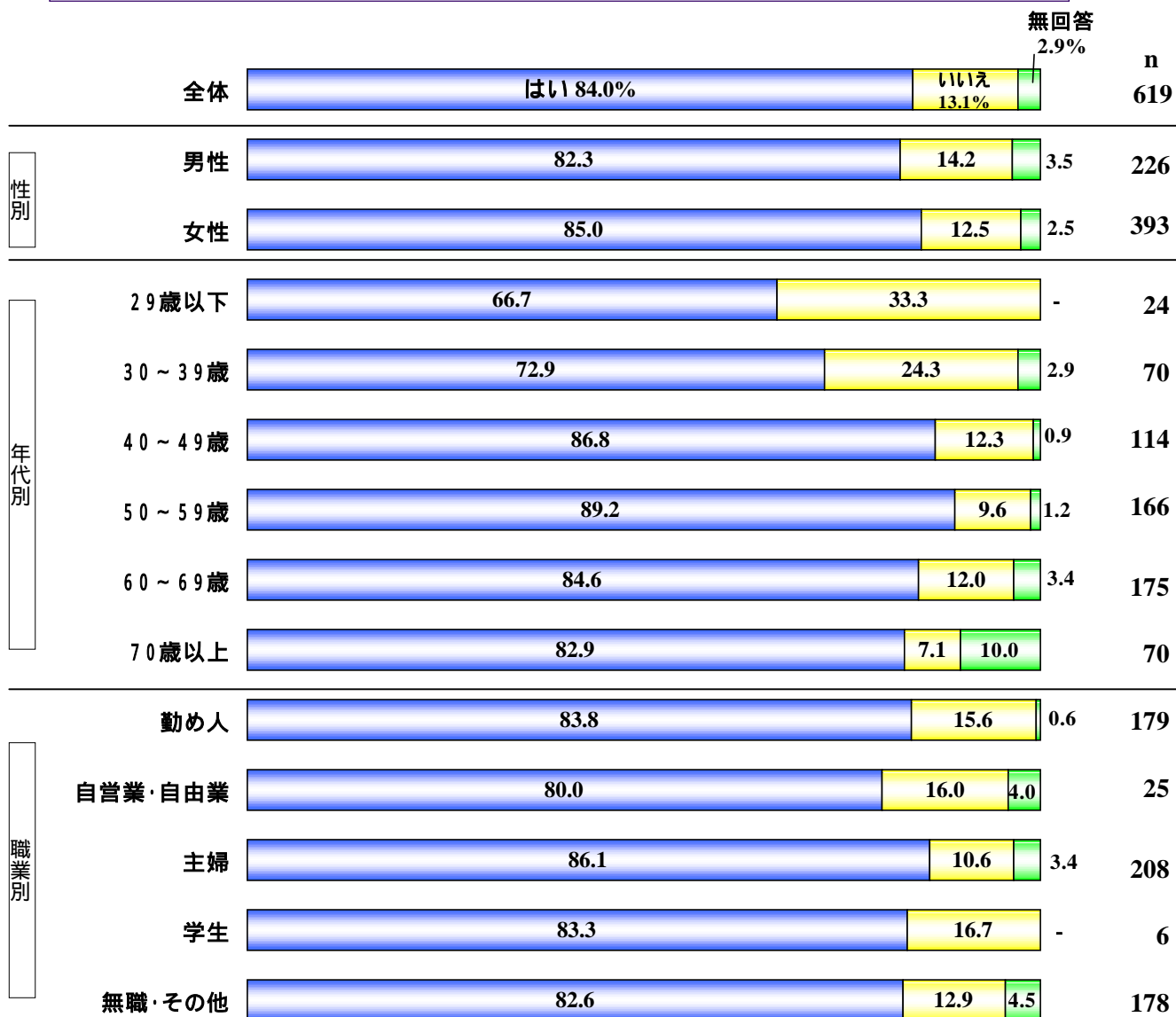
Q5 <質問5 でYesとお答えの方> くすりとの使い分けをしていますか？

サプリメントを使用したことのある619人に、くすりとの使い分けをしているか聞いたところ、「はい(使い分けをしている)」が84.0%と8割を超え、「いいえ(使い分けをしていない)」(13.1%)は1割台である。

【性別】男女で差はなく、いずれも8割以上がくすりとの使い分けをしている。

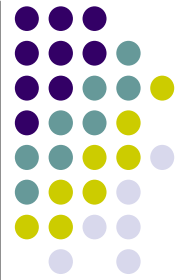
【年代別】くすりとの使い分けをしている人は40代以上で8割以上と多い。「いいえ(使い分けをしていない)」は30代以下でやや多い。

【職業別】いずれの職業も使い分けをしている人が8割以上で違いはない。



(6) 薬局・薬店・ドラッグストアに行く頻度

- 全体、性別、年代別、職業別 -



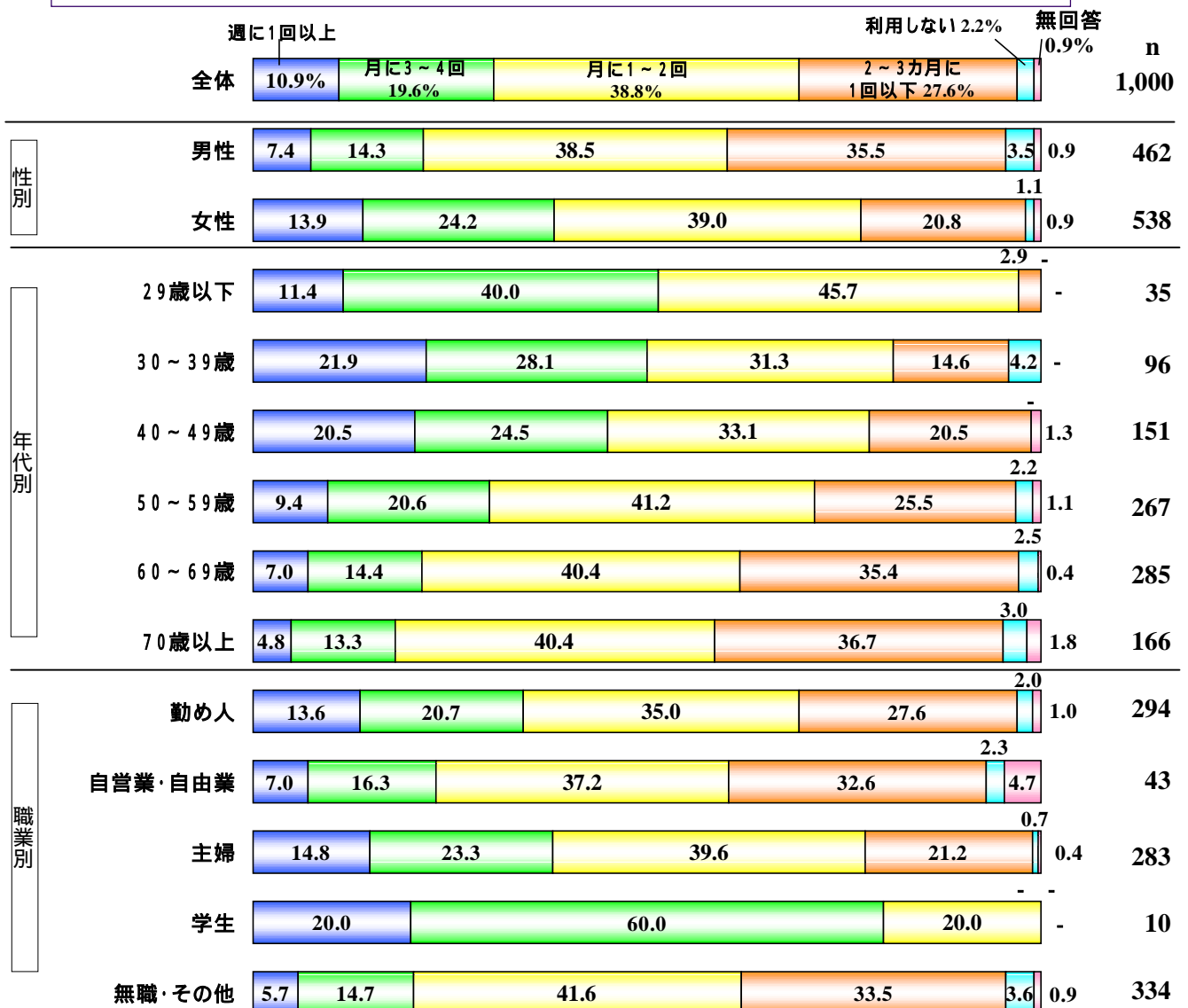
Q6 どのくらいの頻度で薬局・薬店・ドラッグストアを利用しますか？

「月に1～2回」(38.8%)が最も多く、次いで「2～3カ月に1回以下」(27.6%)、「月に3～4回」(19.6%)、「週に1回以上」(10.9%)の順で多い。「利用しない」は2.2%である。

【性別】「週に1回以上」「月に3～4回」は女性で多く、女性の方が行く頻度が高い。

【年代別】「週に1回以上」「月に3～4回」は若い年代ほど多い。30代以下では約5割が月に3～4回以上行くと答えた。60代以上は「2～3カ月に1回以下」が3割以上と多い。若い年代ほど、薬局・薬店・ドラッグストアによく行っている。

【職業別】主婦で「2～3カ月に1回以下」がやや少なく、その他の職業に比べて行く頻度がやや高い。



(7) 薬局・薬店・ドラッグストアのイメージ

(自由回答) -全体-

Q7 薬局・薬店・ドラッグストアに対してあなたがお持ちのイメージをお聞かせください。

薬局・薬店・ドラッグストアのイメージについての自由意見を聞いたところ、1,000人中968人から回答が得られた。

最も多かったのは『何でも売っている、商品が豊富、スーパーマーケットみたい』(221人、22.8%)で、「スーパーマーケットのイメージがある」「日用品も買える」という意見が多い。次いで『薬剤師に気軽に相談できる、頼りになる』(173人、17.9%)、『便利、良い、満足』(146人、15.1%)、『気軽に買える、いつでも買える』(88人、9.1%)、『気軽に入れる』(81人、8.4%)、『親切、対応がよい』(60人、6.2%)、『安い』(59人、6.1%)などが上位に挙がり、「日用品まで売っていて便利」「気軽に寄れて何でもある」「調子がちょっと悪い時に気軽に相談できる」「親切丁寧に対応してくれる」「常備薬が安く買える」などの好意的なイメージが多くを占める。

続く『薬局・薬店・ドラッグストアへの疑問意見要望』(58人、6.0%)では、「忙しそうで話しかけづらい」「高い薬を勧めてくる感じがする」「もう少し深夜まで営業してほしい」などが挙げられた。

性別・年代別にまとめたものが次ページ以下である。

【全体】

968人中

分類	人	(%)
何でも売っている、商品が豊富、スーパーマーケットみたい	221	(22.8)
薬剤師に気軽に相談できる、頼りになる	173	(17.9)
便利、良い、満足	146	(15.1)
気軽に買える、いつでも買える	88	(9.1)
気軽に入れる	81	(8.4)
親切、対応がよい	60	(6.2)
安い	59	(6.1)
薬局・薬店・ドラッグストアへの疑問意見要望	58	(6.0)
病院に行くほどでもない時に利用	52	(5.4)
明るい、清潔、広い	44	(4.5)
安心、無いと困る	43	(4.4)
親しみがある、身近	36	(3.7)
薬の専門店・市販薬を売っている所	35	(3.6)
あまり信頼できない、不安、不親切	34	(3.5)
自分で薬を選べる	33	(3.4)
楽しい	27	(2.8)
アルバイトなど専門知識のない店員が多い、誰が薬剤師か分からない	26	(2.7)
処方箋のある薬を購入する所	26	(2.7)
薬剤師に対する意見要望	24	(2.5)
品揃えが豊富すぎる、雑然としている	21	(2.2)
薬の種類が豊富	17	(1.8)
値段が高い	16	(1.7)
店舗が多い	14	(1.4)
昔の薬局のイメージではなくなった	12	(1.2)
良い店と悪い店がある、店を選べるから良い	12	(1.2)
薬剤師が常駐しているところ	12	(1.2)
閉鎖的、入りにくい、狭い	11	(1.1)
「薬局」と「ドラッグストア」を使い分けている	8	(0.8)
スーパーの一部	8	(0.8)
利益を優先している	7	(0.7)
薬の情報が得られる	6	(0.6)
違いがよくわからない	3	(0.3)
店により薬の値段、勧める薬が違う	2	(0.2)
利用しない	7	(0.7)
その他	17	(1.8)



(7) 薬局・薬店・ドラッグストアのイメージ

(自由回答) -性別-

男女とも「何でも売っている、商品が豊富、スーパーマーケットみたい」「薬剤師に気軽に相談できる、頼りになる」「便利、良い、満足」が上位3位である。
 「何でも売っている、商品が豊富、スーパーマーケットみたい」は、女性で3割近くと多い。

【男性】 444人中

分類	人	(%)
薬剤師に気軽に相談できる、頼りになる	80	(18.0)
何でも売っている、商品が豊富、スーパーマーケットみたい	76	(17.1)
便利、良い、満足	55	(12.4)
気軽に入れる	33	(7.4)
安い	31	(7.0)
薬局、薬店、ドラッグストアへの疑問意見要望	29	(6.5)
気軽に見える、いつでも買える	28	(6.3)
親切、対応がよい	25	(5.6)
明るい、清潔、広い	24	(5.4)
病院に行くほどでもない時に利用	20	(4.5)

【女性】 524人中

分類	人	(%)
何でも売っている、商品が豊富、スーパーマーケットみたい	145	(27.7)
薬剤師に気軽に相談できる、頼りになる	93	(17.7)
便利、良い、満足	91	(17.4)
気軽に見える、いつでも買える	60	(11.5)
気軽に入れる	48	(9.2)
親切、対応がよい	35	(6.7)
病院に行くほどでもない時に利用	32	(6.1)
安心、無いと困る	32	(6.1)
薬局・薬店・ドラッグストアへの疑問意見要望	29	(5.5)
安い	28	(5.3)

(それぞれ10位まで掲載)

(7) 薬局・薬店・ドラッグストアのイメージ

(自由回答) -年代別-



50代以下は「何でも売っている、商品が豊富、スーパーマーケットみたい」が最も多い。60代以上は「薬剤師に気軽に相談できる、頼りになる」が最も多い。

【29歳以下】 35人中

分類	人	(%)
何でも売っている、商品が豊富、スーパーマーケットみたい	16	(45.7)
薬剤師に気軽に相談できる、頼りになる	5	(14.3)
便利、良い、満足	5	(14.3)
気軽に入れる	5	(14.3)
気軽に買える、いつでも買える	5	(14.3)
楽しい	5	(14.3)
親切、対応がよい	3	(8.6)
処方箋のある薬を購入する所	3	(8.6)
明るい、清潔、広い	2	(5.7)
自分で薬を選べる	2	(5.7)
「薬局」と「ドラッグストア」を使い分けている	2	(5.7)

【30代】 93人中

分類	人	(%)
何でも売っている、商品が豊富、スーパーマーケットみたい	31	(33.3)
便利、良い、満足	12	(12.9)
気軽に入れる	10	(10.8)
明るい、清潔、広い	10	(10.8)
薬剤師に気軽に相談できる、頼りになる	8	(8.6)
親切、対応がよい	6	(6.5)
気軽に買える、いつでも買える	6	(6.5)
安心、無いと困る	6	(6.5)
楽しい	6	(6.5)
安い	4	(4.3)
自分で薬を選べる	4	(4.3)
薬局・薬店・ドラッグストアへの疑問意見要望	4	(4.3)
閉鎖的、入りにくい、狭い	4	(4.3)
薬の専門店・市販薬を売っている所	4	(4.3)

【40代】 148人中

分類	人	(%)
何でも売っている、商品が豊富、スーパーマーケットみたい	40	(27.0)
薬剤師に気軽に相談できる、頼りになる	26	(17.6)
便利、良い、満足	21	(14.2)
安い	16	(10.8)
気軽に入れる	14	(9.5)
気軽に買える、いつでも買える	12	(8.1)
病院に行くほどでもない時に利用	10	(6.8)
親切、対応がよい	8	(5.4)
アルバイトなど専門知識のない店員が多い、誰が薬剤師が分からない	8	(5.4)
自分で薬を選べる	7	(4.7)

【50代】 256人中

分類	人	(%)
何でも売っている、商品が豊富、スーパーマーケットみたい	73	(28.5)
便利、良い、満足	45	(17.6)
薬剤師に気軽に相談できる、頼りになる	41	(16.0)
気軽に入れる	25	(9.8)
気軽に買える、いつでも買える	22	(8.6)
親しみがある、身近	16	(6.3)
病院に行くほどでもない時に利用	16	(6.3)
薬局・薬店・ドラッグストアへの疑問意見要望	16	(6.3)
安い	13	(5.1)
明るい、清潔、広い	10	(3.9)
安心、無いと困る	10	(3.9)

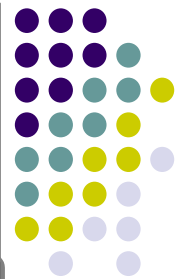
【60代】 276人中

分類	人	(%)
薬剤師に気軽に相談できる、頼りになる	57	(20.7)
何でも売っている、商品が豊富、スーパーマーケットみたい	41	(14.9)
便利、良い、満足	40	(14.5)
気軽に買える、いつでも買える	35	(12.7)
気軽に入れる	20	(7.2)
親切、対応がよい	18	(6.5)
薬局・薬店・ドラッグストアへの疑問意見要望	17	(6.2)
病院に行くほどでもない時に利用	16	(5.8)
安い	15	(5.4)
明るい、清潔、広い	15	(5.4)

【70歳以上】 160人中

分類	人	(%)
薬剤師に気軽に相談できる、頼りになる	36	(22.5)
便利、良い、満足	23	(14.4)
何でも売っている、商品が豊富、スーパーマーケットみたい	20	(12.5)
親切、対応がよい	18	(11.3)
薬局・薬店・ドラッグストアへの疑問意見要望	14	(8.8)
安い	10	(6.3)
気軽に買える、いつでも買える	8	(5.0)
親しみがある、身近	8	(5.0)
安心、無いと困る	8	(5.0)
気軽に入れる	7	(4.4)
アルバイトなど専門知識のない店員が多い、誰が薬剤師が分からない	7	(4.4)
あまり信頼できない、不安、不親切	7	(4.4)

(それぞれ10位まで、もしくは4%以上のみ掲載)



(8) OTC 医薬品についての意見(自由回答)

Q8 OTC 医薬品について、ご意見やご希望、ご不満に感じていることがあればお聞かせください。

OTC 医薬品についての意見を自由回答で聞いたところ、1000人中680人から回答が得られた。『OTC 医薬品のイメージ』(184人)についての回答が最も多く、「OTC 医薬品は手軽に買えてよい、便利だ、利用している」など、OTC 医薬品に良いイメージを持つ人が多い。『薬局・薬店・ドラッグストアに対する意見要望』(131人)には、「薬剤師に詳しく薬の説明をしてほしい・相談に乗ってほしい、どの店舗にも常駐してほしい」が多い。『OTC 医薬品に対する要望』(123人)は、「OTC 医薬品の使用、購入に関して不安」「OTC 医薬品の種類を増やしてほしい、スイッチOTC 医薬品を増やしてほしい」「安全性への要望」「効き目を良くしてほしい」などが多い。

以下「情報が少ない」「OTC 医薬品についてもっと広報してほしい」などといった『OTC 医薬品についての情報を提供してほしい』(92人)、『説明書に対する意見要望』(60人)、『「高い、不経済」など価格への不満・要望』(58人)が続く。

N = 680

全体

OTC 医薬品のイメージ	184 (人)
OTC 医薬品は手軽に買えてよい、便利だ、利用している	69
OTC 医薬品に期待している、重要だ、利用すべきだ	56
OTC 医薬品を知らなかった	28
OTC 医薬品名前に馴染みにくい、わからない	26
安心して買える	5
薬局・薬店・ドラッグストアに対する意見要望	131
薬剤師に詳しく薬の説明をしてほしい・相談に乗ってほしい、どの店舗にも常駐してほしい	76
店の人には薬の知識をしっかり勉強してほしい	21
商品陳列・管理に関する要望	16
店舗のサービスへの要望	8
要望と異なるものを進めないでほしい	6
副作用を減らしてほしい	4
OTC 医薬品に対する要望	123
OTC 医薬品の使用、購入に関して不安	28
OTC 医薬品の種類を増やしてほしい、スイッチOTC 医薬品を増やしてほしい	27
安全性への要望	25
効き目を良くしてほしい	25
医薬品、製薬会社に対する疑問質問	18
OTC 医薬品についての情報を提供してほしい	92
説明書に対する意見要望	60
注意書きをもっと詳しく	24
処方などの表示方法を明確にほしい	23
字が小さい、わかりにくい	10
説明書がわかりやすい	3
「高い、不経済」など価格への不満・要望	58
価格が高い	38
量が多い、少量サイズを作ってほしい	11
店により価格が異なる	9
類似品が多く違いがわからない、自分に合っている薬がわからない	48
OTC 医薬品を勉強していきたい	38
制度についての疑問意見要望	27
医療医薬品との違いがわからない・買わない・利用しない	11
その他	18

複数回答でカウントしているため、合計は680を超える。



(8) OTC医薬品についての意見(自由回答)

—性別、年代別—

性別・年代別に見ると下表の通りである。
 【性別】
 女性で「薬局・薬店・ドラッグストアに対する意見要望」が多い。
 【年代別】
 「OTC医薬品のイメージ」は29歳以下、70歳以上に多い。「OTC医薬品に対する要望」は30代が多い。「薬局・薬店・ドラッグストアに対する意見要望」は40～60代が多い。「OTC医薬品についての情報を提供してほしい」は30～40代が多い。

	N	OTC医薬品のイメージ	薬局・薬店・ドラッグストアに対する意見要望	OTC医薬品に対する要望	OTC医薬品についての情報を提供してほしい	説明書に対する意見要望	「高い、不経済」など価格への不満・要望	「自分と合っていない薬がわからない」	類似品が多く違いがわからない	OTC医薬品を勉強していきたい	制度についての疑問意見要望	医療・医薬品との違いがわからない・買わない・利用しない	その他
全体	680	184 27.1	131 19.3	123 18.1	92 13.5	60 8.8	58 8.5	48 7.1	38 5.6	27 4.0	11 1.6	18 2.6	
男性	299	85 28.4	43 14.4	58 19.4	46 15.4	24 8.0	31 10.4	18 6.0	12 4.0	13 4.3	5 1.7	8 2.7	
女性	381	99 26.0	88 23.1	65 17.1	46 12.1	36 9.4	27 7.1	30 7.9	26 6.8	14 3.7	6 1.6	10 2.6	
29歳以下	22	5 22.7	5 22.7	3 13.6	3 13.6	1 4.5	1 4.5	2 9.1	0 0.0	1 4.5	1 4.5	0 0.0	
30代	67	23 34.3	8 11.9	18 26.9	11 16.4	4 6.0	4 6.0	2 3.0	2 3.0	7 10.4	2 3.0	0 0.0	
40代	102	19 18.6	21 20.6	18 17.6	18 17.6	8 7.8	13 12.7	12 11.8	4 3.9	2 2.0	2 2.0	3 2.9	
50代	183	49 26.8	36 19.7	32 17.5	23 12.6	21 11.5	18 9.8	17 9.3	14 7.7	6 3.3	0 0.0	2 1.1	
60代	188	47 25.0	41 21.8	34 18.1	24 12.8	16 8.5	13 6.9	13 6.9	10 5.3	5 2.7	3 1.6	8 4.3	
70歳以上	118	41 34.7	20 16.9	18 15.3	13 11.0	10 8.5	9 7.6	2 1.7	8 6.8	6 5.1	3 2.5	5 4.2	

揭載紙面